

コード	名称	区分	コード	名称
事業名 1192	緊急時給水拠点確保等事業	会計		水道事業会計
基本 施策	21 安全でおいしい水道水を安定供給する	款		資本的支出
		項		建設改良費
		目		配水給水施設費
行革大綱の重点事項番号		細目		緊急時給水拠点確保等事業
担当部課	コード	340300	担当者 氏名	岸 剛毅
	名称	水道部施設課		
		連絡先	24 - 3980 (内線) 230	

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	伊賀市全域市民 ※対象件数 89,249人
成果(どうする)	上水道施設の耐震化により地震等の非常時でも施設の維持機能を図ることができる。また、配水池および貯水槽に給水できる水を確保することができる。
根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、水道法施行規則、国庫補助金交付要綱
開始年度	平成 19 年度
終了年度	平成 22 年度
H21 事業内容	滝川浄水場(伊賀市川西地内)の耐震診断を実施
社会情勢の変化等	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	59,296 千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値			
			H20	H21	H22	H23		
耐震診断実施率	% 目標	%	37	41	41			
			実績	37			実績	41
			目標				目標	
			実績				実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値			
				H20	H21	H22	H23		
設置率および補強率	% 目標	年次計画で緊急遮断弁の設置および耐震補強を行う。	%	19	14	14			
				実績	14			実績	14
				目標				目標	
				実績				実績	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	0	10,143		22,073				
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
一般財源	0	10,143		22,073		0		
事業投入人件費(B)	人	0.3人	2,160	0.3人	2,160	人	0	
フルコスト(A)+(B)	0	12,303		24,233				

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○ 緊急時における給水拠点等の整備として有効
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	伊賀市上水道としての水道事業の一元化を踏まえ、伊賀市全体としての事業を推進する。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる
	【詳細】 上水道への一元化を踏まえ、簡易水道区域の水道施設についても耐震診断、耐震補強事業を検討した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	坂本 忠久
事業の方向性	【方向性】 他事業と統合
	【理由】 伊賀市上水道としての水道事業の一元化を踏まえ、浄水施設耐震診断等を実施する。
現時点における課題、その他	平成23年度から国庫補助事業として水道広域化事業のメニューにより緊急時給水拠点確保等事業が実施できることとなった。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	平成22年度予算の執行はとりやめとし、平成23年度から補助対象事業として実施する。